市民とつながる

議会だより いちのせき

No.87 2026.11.1

CONTENTS

９月通常会議

- 話し合ったことズームアップ（議案審議）…… 4
- 代表質問 …… 6
- 個人質問 …… 7



［巻頭特集］

語ろう市議会×ふじの園

- 特集 -

語ろう 市議会 × ふじの園

児童養護施設「一関藤の園」、子ども第三の居場所「うぃすてりあ」（児童育成支援拠点施設）を運営する社会福祉法人「ふじの園」の橋本欽哉理事長と渡部俊幸事務局長に、両施設での受け入れ状況や課題、地域との関わり、今後の展望などを聞きました。



地域社会で子どもたちを見守り、育てていく

理事長
橋本 欽哉 さん（71）一関市狐禅寺
HASHIMOTO KINYA

ちょっと疲れを感じる歳になりましたが、運営している施設の子どもたちや職員の皆さんから元気をもらいながら法人運営をしています。

事務局長
渡部 俊幸 さん（65）一関市山目
WATANABE TOSHIYUKI

地域の皆さまの温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

――一関藤の園はどのような施設で、子どもの数の変化は。

渡部事務局長　県内に6カ所ある児童養護施設の一つで、36人の定員に対して32人の子どもを受け入れています。子どもたちは、さまざまな理由により親元で暮らすことができず、児童相談所からの要請により入所しています。運営経費は国と県の負担となっています。入所する子どもの数は減っていますが、虐待などの件数は全国、岩手県とも増加傾向にあります。行政機関への相談件数も高止まりの状況で、在宅支援などで対応している子どもも多いと聞いています。

――施設運営上の課題は。

渡部事務局長　病院を受診する子どもたちも多く、専門の病院が身近にないため市外の病院まで連れて行くなど、職員の負担が大きいことです。施設の役割が増す中、機能を維持していくのが大変になっています。

――子どもたちの生活は。

渡部事務局長　施設では家庭に近い環境で生活しています。幼稚園や小中学校に通い、希望する高校にも進学しています。

――高校卒業後の進路は。

橋本理事長　高校卒業後は退所することになっており、その後は自立が基本です。大学などへの進学や就職をしていますが、さまざまな悩みを抱えるケースもあるため、退所後のアフターケアをできる範囲でしています。

――地域の支援は。

橋本理事長　毎年、一関中央ライオンズクラブが夏祭りを開いてくれ、子どもたちにとって楽しいイベントとなっています。ＪＡいわて平泉からは米や野菜など農産物の差し入れを頂いているほか、地域の人たちからも物心両面でさまざまな支援が寄せられ感謝しています。

――どのような施設でありたいですか。

渡部事務局長　入所中は安心・安全に過ごせる場所、退所後は気軽に帰って来られるような場所として、子どもたちのよりどころであり続けたいと考えています。

――「うぃすてりあ」はどのような施設で、利用状況は。

橋本理事長　子どもたちにとって家でも学校でもない第三の居場所として、令和7年4月に開所しました。一関市が設置し、公益財団法人B&G財団と市の支援で運営しています。市が必要と認めた子どもが無料で利用でき、現在定員20人に対して25人を受け入れています。開所日は月～金曜日の14～20時が基本です。



渡部事務局長　市内の児童生徒数は減っている一方、要支援や要保護の対象となる子どもは増えていると聞いており、それも要因なのか利用者は増えています。しかし、現施設ではこれ以上の受け入れは難しい状況です。

――施設を活用した新たな取り組みの考えとは。

橋本理事長　不登校の子どもが多くなっているので、施設の空き時間を利用して受け入れできないか検討しています。関係機関とも協議していきたいと考えています。

――法人が地域貢献を目指す理由は。

橋本理事長　「うぃすてりあ」では不登校児、認定こども園の一関藤保育園では発達障がい児を受け入れ、山目市民センターでこども食堂を開設するなど、施設や人材を有効活用した地域貢献も法人の使命だと考えています。今後は積極的な取り組みを展開していきたいです。



――市民や行政、議会に期待することは。

橋本理事長　施設も必要ですが、養護や支援を必要としている子どもたちを、地域社会で支える仕組みを充実させる必要を感じます。「地域社会で子どもたちを見守り、育てていく」という思いを市民と共有し、共に行動していければと考えているので、市や議会もそれに向けて取り組んでいただければと思っています。

取材を終えて



佐藤委員　猪股委員

さまざまな事情から施設を利用している子どもたちの状況、新たな形で地域貢献を模索していることをお二人の話から知ることができました。「地域社会で子どもを見守り、育てていく」という思いをしっかりと受け止め、議会活動に取り組んでいかなければと感じた取材でした。

（広聴広報委員　猪股晃、佐藤進治）

社会福祉法人　ふじの園



一関市内で一関藤の園、うぃすてりあ、一関藤保育園を運営。一関藤の園では養護が必要な子どもを受け入れ、退所後の自立支援も行っている。子ども第三の居場所「うぃすてりあ」はさまざまな理由で居場所を必要とする子どもに対し、食事や入浴、各種体験の提供、生活習慣や学習習慣を身につけられるような支援を行う。一関藤保育園は認定こども園。

補正予算

可決

＊議案第55号　令和８年度一般会計補正予算（第５号）
＊議案第66号　令和８年度一般会計補正予算（第６号）

医療介護人材の育成事業費に2,180万円
豪雨被害の復旧経費も追加

一般会計補正予算は、第５号で39億9,934万円、第６号で4,492万円をそれぞれ歳入歳出に追加し、予算総額を826億4,493万円としました。

第５号では、医療介護人材育成事業費を2,180万円増額しました。このうち、新規事業となる介護支援専門員育成支援事業費補助金は、事業所に新規で配属、または雇用された未経験の介護支援専門員に対し、育成指導を行った職員の人件費を補助するものです。

既存事業の介護職員就職奨励金を拡充する事業費も計上しました。市内の介護サービス事業所に初めて就職した介護福祉士などの有資格者に交付している勤続１年の就職奨励金を30万円から50万円に引き上げるとともに、新たに２年経過後に30万円、３年経過後に10万円を交付します。

介護保険施設等人材育成支援事業費補助金も増額しました。施設入所サービスを提供する事業所が、介護の資格を持たない人を雇用しながら育成する場合に補助金を交付する事業で、補助対象の拡大に伴う増額です。

６月12日に発生した降ひょう被害を受け、農作物災害復旧対策事業費補助金を356万円計上しました。収穫量の減少が見込まれるリンゴと小菊を生産する農家20戸に対し、病害虫防除のための農薬購入費を県と市が合わせて３分の２の割合で補助するものです。

第６号では、７月25～26日、８月１～２日、８月８日にそれぞれ発生した豪雨による災害の復旧事業費を計上したほか、一関小学校整備事業費を、事業スケジュール見直しによる継続費の年割額変更に伴い5,294万円減額しました。また、厳美渓名勝指定100周年記念事業実行委員会に対する負担金として100万円を計上しました。

〈その他補正予算に計上した主な事業〉

主な事業	補正額（増額）
道路維持補修費	2,428万円
河川維持補修費	1,267万円
農林施設災害復旧費	1,946万円
農地災害復旧費	899万円
公共土木施設災害復旧費	3,146万円



介護人材の確保と育成を支援
（写真はイメージ）

こんな質疑がありました

Q. **降ひょう被害について、把握している市内の農作物被害の全体像は。**

A. 被害を受けたのは一関、花泉、千厩、室根の４地域で、作物は14品目。野菜はナス、ピーマン、キュウリなど、花卉はリンドウ、小菊、果樹はリンゴ、モモなど。農家戸数と面積は延べ39戸、28.6㌶であり、被害額は、農作物災害復旧対策事業費補助金の対象であるリンゴが約１億956万円、小菊が約289万円。

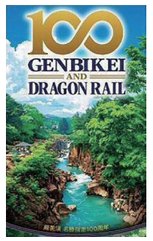
こんな質疑がありました

Q. **厳美渓名勝指定100周年記念事業実行委員会負担金の具体的な事業内容と内訳は。**

A. ＰＲポスター製作に14万円、観光物産紹介チラシ製作に58万6,000円、のぼり製作などＰＲ費用に24万円、ＳＮＳ写真コンテストに３万4,000円。

Q. **記念事業の実施によってどのような効果を見込むか。**

A. 令和９年度の記念事業に向け、機運醸成を図り、100周年を広く周知していく。



厳美渓名勝指定100周年に向けて機運醸成を図る

9月通常会議で話し合ったこと

ズームアップ

令和８年定例会第126回９月通常会議
９月１日～29日／会議期間29日間
会議では令和７年度決算11件を認定し、報告３件、議案23件を原案通り可決しました。

決算

認定

＊認定第１号　令和７年度一般会計歳入歳出決算の認定など全11件

令和７年度の全ての決算を認定

令和７年度の一般会計、特別会計および企業会計の決算は、決算審査特別委員会で審査し、９月29日の本会議最終日に委員長（佐藤敬一郎議員）が審査結果について報告しました。討論の後、採決を行い、全会計を認定しました。

令和７年度歳入歳出決算額（１万円未満切り捨て）

会計	歳入	歳出
一般会計	745億7,661万円	713億351万円
特別会計	142億9,889万円	139億2,896万円
合計	888億7,651万円	852億3,247万円

反対討論

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の決算認定に反対（佐藤真由美議員）

国際リニアコライダー（ＩＬＣ）実現は、国際情勢が大きく影響し、現段階では実現の見込みは全く立っていない。ＩＬＣ推進は勇気を持ってやめるべきだ。また、一ノ関駅東西自由通路整備は基本計画調査を行っているが、市民アンケートを行うなどして利用者見込みなどの把握調査が必要である。駅東口土地利活用についても、市としての事業計画が打ち出せないままであり、市民の皆さんからも「何ができるのか」という声が上がっている。中山間地域等直接支払制度も国や県に対し、実態に合った見直しを求め行動していただきたい。

賛成討論

全会計の決算認定に賛成（猪股晃議員）

人口減少が進む中で地域の活力を高めるまちづくりが求められているが、佐藤市長は人口減少への対処が最大で最優先の課題であるとの認識の下、「働く場を増やす　稼ぐ力を高める」こと、「人が輝く 人を育てる」ことによって「地域・まちを元気にする」という方針を明確に示し、困難な課題への対処に尽力している。令和７年度は、この「まちの姿」の実現のため、「しごと・ひと・まち」の視点から各施策に取り組んできたところであり、それぞれの事業は市民生活のさまざまな分野で着実に成果を積み上げてきたものと評価し賛成する。

表決が分かれた案件

＊認定第１号　令和７年度一般会計歳入歳出決算
＊認定第２号　令和７年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算
＊認定第３号　令和７年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

会派	清和会						一関みらい						輝郷会					日本共産党一関市議団				公		無			決議結果
氏名	門馬 功	皆川 千秋	那須 勇	佐藤 浩	菅原 行奈	千葉ちあき	岩渕 典仁	千葉 誠	永澤 由利	佐藤敬一郎	佐藤 幸淑	石黒 一広	千葉 信吉	藤代 崇	千葉 幸男	猪股 晃	森 英隆	岡田もとみ	佐藤真由美	千葉 栄生	齋藤 禎弘	岩渕 優	佐藤 進治	小野寺道雄	沼倉 憲二	勝浦 伸行	
認定第１号	○	○	○	監査委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	議長	認定
認定第２号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○		認定
認定第３号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○		認定

○＝賛成　×＝反対　欠＝欠席　※公＝公明いちのせき、無＝無会派

千葉　誠 議員（ちば まこと）



冬

駅東口工場跡地の利活用

Q 一ノ関駅東口工場跡地について、民間事業者の公募中止に至った要因と検証、*3防災大学校・ＩＬＣ関連施設を跡地活用の中でどう位置づけるのか。誘致判断を待つ間も活用を停滞させず、民間活力や公共空間を組み合わせた段階的整備を進める考えは。議会への説明責任と新たな工程表をいつ示すのか。

A 公募中止は急激な物価・資材高騰などによる事業環境悪化で採算性確保が困難となったことが主因。防災大学校・ＩＬＣ関連施設は活用案の一つとし、区域を固定せず、状況を見ながら実現可能なものから順次具体化する。工程表は令和９年度予算への反映を目指す。



市民の笑顔　※イメージ

その他のQ&A

- ○市の財政状況と今後の財政見通し
- ○ふるさと納税による財源確保と地域産業振興

個人質問

個人質問は９月３、４、７日の３日間で15人の議員が登壇し、活発な議論を展開しました。

（文責は各議員）

登壇議員		ページ
千葉　誠	議員	7
千葉ちあき	議員	8
森　英隆	議員	8
齋藤　禎弘	議員	8
岩渕　優	議員	9
沼倉　憲二	議員	9
岩渕　典仁	議員	9
門馬　功	議員	10
猪股　晃	議員	10
千葉　栄生	議員	10
佐藤　進治	議員	11
石黒　一広	議員	11
菅原　行奈	議員	11
岡田もとみ	議員	12
佐藤真由美	議員	12

議員の素顔をお見せします
＃ひとこと

今回のテーマは・・・
＃実は苦手なこと（物）

千葉信吉 議員（ちば のぶよし）



酢、酢の料理

*2不登校問題の検証と対策

Q 不登校児童・生徒を取り巻く課題を踏まえ、保護者を含め今後どのような取り組みを進めていくのか。

A 不登校児童生徒数が令和７年度は減少したものの、出現率は小学校が1.91%、中学校が6.68% と依然として高い状況にあることから、居場所づくり、絆づくりを柱に不登校の未然防止、早期発見、早期対応に組織的に取り組んでいる。令和７年度から不登校および不登校傾向の児童生徒を持つ保護者を対象に、子どもについて語り合う保護者のつどいの会を開催し、不登校に関する基本的な理解や相談機関に関する情報提供、悩みを共有する場の設定を通して、悩みの解決や精神的な負担の軽減の一助となるようにしている。



たんぽぽ広場における学習支援

その他のQ&A

- ○関係機関などとの連携強化
- ○相談・支援体制の充実

那須　勇 議員（なす いさむ）



刺激の強い物の摂取

有機農業の推進は

Q 今後の有機農業政策の方向性について市長の考えは。

A オーガニックビレッジ宣言をしたまちとして、生産者はもとより消費者をはじめ地域ぐるみで持続可能な有機農業の産地づくりを進めていきたい。

Q 慣行栽培から有機農業への転換に対する支援は。

A 市独自事業の有機農業振興対策事業で、*1協議会が取り組む生産者向けの講習会や研修会を引き続き周知していきたい。

Q 消費拡大の取り組みは。

A 有機農業の生産者を増やす取り組みを進め、農業のイメージアップにつながるようシティープロモーションにおけるくらし、ひと、まちの情報発信につなげていきたい。



道の駅だいとうの有機米販売コーナー

その他のQ&A

- ○有機農業に取り組む農業者の現状
- ○学校給食での有機農産物の利用促進
- ○有機農産物の流通
- ○環境にやさしい農業の推進

佐藤幸淑 議員（さとう ゆきとし）



柔軟体操

空き家対策の現状は

Q 昨年提出した提言書に対する取り組み状況は。

A 担当部署で既存の取り組みの見直しや新たな施策の導入について検討を進めてきた。そのうち空き家バンクの運営については、５月から市内の民間不動産事業者に運営業務を委託し、民間の専門性や機動力を活用した運営に移行した。また、７月から全国規模の空き家バンクに参画し、掲載準備が整い次第順次公開する予定。市空き家バンク登録住宅改修等補助金のほか、今年度から市危険空家等解体費補助金を創設し、危険空き家の除却についても支援を行っている。



リニューアルされたＨＰ

その他のQ&A

- ○空き家バンクへのオンライン登録導入
- ○未登録物件の無料建物診断や家財処分支援等の補助制度
- ○ホームページ整備、マッチングイベントの状況

第126回 9月通常会議

代表質問

常任委員会代表質問は９月３日、３人の議員が登壇しました。

（文責は各議員）

登壇議員		ページ
総務常任委員会		
佐藤　幸淑	議員	6
産業建設常任委員会		
那須　勇	議員	6
教育民生常任委員会		
千葉　信吉	議員	7

政策提言への対応を問う！

代表質問とは、議員が個々の立場で行う個人質問に先立ち、会派や常任委員会の代表が行う質問。９月通常会議から新たに、総務、産業建設、教育民生の三つの常任委員会代表による質問が導入されました。各常任委員会が提出した政策提言書への対応などを質問しました。

議員の素顔をお見せします
＃ひとこと

今回のテーマは・・・
＃実は苦手なこと（物）

単語帳

＊3　防災大学校
国が防災局の付属機関として設置を検討している研修施設。一関市はＪＲ一ノ関駅東口の工場跡地への誘致に名乗りを上げる方針を示した。

＊2　不登校
登校しない、あるいはしたくてもできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。

＊1　協議会
一関地方有機農業推進協議会。一関地方における有機農業の面的拡大や普及・推進を図る組織で、一関市も構成団体となっている。

単語帳
用語のひとこと解説コーナーです



岩渕典仁 議員
いわぶち のりひさ

人前で話すこと

＊6地域未来戦略の活用は

Q 人口減少や地域経済の縮小が進む中、国の地域未来戦略を本市の成長につなげることが重要。国や県と連携し、本市の強みや地域資源を生かした独自の地場産業成長プラン策定に向け、調査研究を進める考えはないか。農林畜産業や食関連産業、観光などを成長分野として、地域経済の活性化につなげる考えを伺う。

A 本市は、ものづくり産業や農林畜産、食、観光など多様な地域資源を有している。県が策定を進める計画の内容を見た上で、地場産業成長プランについて検討する。農商工連携や６次産業化、先進技術の活用も含め、地域資源や産業基盤を生かした成長分野の可能性を探っていく。



駅東口工場跡地の利活用イメージ

その他のQ&A
- ○一ノ関駅東口工場跡地の利活用
- ○子育て・教育・人材育成拠点の形成
- ○一ノ関駅東口まちづくり株式会社



沼倉憲二 議員
ぬまくら けんじ

粗にして野だが卑ではない

厳美渓整備などの観光振興は

Q 市を代表する観光地であり、来年国の名勝指定100周年を迎える厳美渓の現状をどう捉え、休止しているレストハウスや駐車場、長期休業中の温泉旅館など一関温泉郷の整備にどのように取り組むのか。

A 厳美渓はお土産を買う店や飲食する場所がないことが観光客の満足度を下げ、良くない印象を与えることで経済効果を逸する残念な状況となっている。市では、関係者や事業者に声かけをして店舗の営業再開に向けた聞き取りを行っている。長期休業中の旅館については、老朽化し現状のまま利活用することは課題があることから、所有者と意思疎通をしている。



来年、国の名勝指定100周年を迎える厳美渓

その他のQ&A
- ○県政と一関
- ○ＪＲ一ノ関駅東口の整備



岩渕　優 議員
いわぶち まさる

料理

＊5移住者の新規就農支援

Q 移住者が新規就農する場合､初期投資が高額になる。現在の支援制度では不十分ではないかと考える。市として捉えている課題と解決策を伺う。

A 一定額の自己資金が必要になることを説明した上で、負担軽減を図るため、国の支援制度の活用を基本としながら離農を検討している農家の情報を収集し、農業機械や施設設備などの有効活用を勧めることで、初期投資の縮減を図っている。

Q 初期投資を大幅に軽減させるために、レンタルのビニールハウスを活用する仕組みについての見解を伺う。

A 採算、影響などを総合的に考え判断する。



野菜栽培用のビニールハウス

その他のQ&A
- ○空き家買い取りの官民連携
- ○５歳児健康診査



齋藤禎弘 議員
さいとう よしひろ

ヘビ

農家支援策

Q 今年度から実施したスマート農業機械導入支援事業費補助金と、農業用草刈機導入補助金の申請状況と市の評価は。

A スマート農業機械導入支援事業費補助金は７月１日に受け付けを開始し、９日に予算額に達した。農業用草刈機導入補助金は２回に分けて受け付けを行い、１回目は予算総額の62.6%まで達した。農業の生産性向上と効率化を促進する目的で実施したが、事業効果が期待できる。

Q 今年は米価が下落している。離農が増えることが懸念される。農家を励ます意味でも、申請者全員に補助するよう予算を増額するべきではないか。

A 来年度の予算編成に向けて精査していきたい。



草刈り作業の省力化に欠かせないのり面草刈機

その他のQ&A
- ○駅東口工場跡地の利活用策



森　英隆 議員
もり ひでたか

炭酸の抜けた強炭酸水

駅東口の整備計画は

Q 計画策定に専門家の意見を交えるほか、もっと市民を参画させる考えは。

A 現在は庁内で検討を進めているところ。今後跡地の土地利用を具体化していくに当たり、専門的な知見や外部の視点を入れることは有効な手段の一つと考えている。必要に応じて活用も検討を進めていきたい。

Q 特別委員会で３、４年前に行ったニーズ調査を基に計画を進めていると聞いたが、改めて調査をする予定は。

A 土地利活用コンセプトには、市民の皆さんからの意見交換や事業者からの意見を反映させている。中止にはなったがニーズは変わっていないと思っている。新たな調査は考えていない。



駅東口工場跡地の様子

その他のQ&A
- ○市内道路のトンネル照明の整備



千葉ちあき 議員
ちば ちあき

車の長距離運転

厳美渓100周年の取り組み

Q 令和９年に国の＊4名勝指定100周年を迎える厳美渓について、市としてどのような意義を持つと捉えているか。

A 単なる記念の年ではなく、厳美渓を核として多様な地域資源を発信する絶好の機会。観光地としての魅力を再認識し、新たな100年のスタートとしたいと考えている。

Q 厳美渓の景観・環境整備を進めていく考えは。

A 地域の方や関係機関と連携し、景観や環境保全に努めていきたいと考えている。老朽化した案内看板は、関係者と現状確認を進めてから方向性を検討していきたい。

Q 厳美渓を支えてきた地域住民の参画について伺う。

A 実行委員追加を検討し、地域一丸となり100周年記念行事を推進できるよう取り組みを進めていく。



老朽化して倒れたままの案内看板

その他のQ&A
- ○子ども・子育て支援金による住民負担増と当市のこども計画事業

単語帳

＊6　地域未来戦略
経済の活性化に力点を置いた国の地方創生戦略。国や都道府県が主導する計画と、市町村ごとに地域資源の活用に取り組む「地場産業成長プラン」に基づき施策を進める。

＊5　新規就農支援
これから農業を始める人を資金・研修・経営面で総合的に支える公的仕組み。国（農林水産省）と自治体、ＪＡなどが連携して実施している制度などがある。

＊4　名勝指定100周年
磐井川中流に位置し､雄大な渓谷美がある景勝地･厳美渓は、昭和２（1927）年９月５日に国の名勝と天然記念物に指定された。令和９（2027）年に指定100周年を迎える。

二次元コードを読み取ると、各議員の一般質問の様子をご覧になれます！

菅原行奈 議員（すがわら あんな）

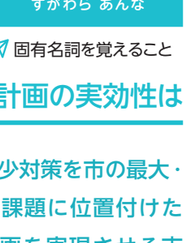


今回のひとこと：固有名詞を覚えること

新たな総合計画の実効性は

Q 人口減少対策を市の最大・最優先課題に位置付けた一関市総合計画[*10]を実現させる市長の覚悟と決意は。市民の意見を基にまとめられた四つの重点プロジェクトや掲げた施策が、予算編成や実施計画にどのように反映されるのか。

A 総合計画は、市民など27人で構成する総合計画審議会の答申を最大限尊重して策定し、将来像の「ひとりひとりが輝く挑戦しつづけるまち　いちのせき」もまとめていただいた。重点プロジェクトは人口減少の抑制につながるもので、社会情勢の変化などに応じ、その時々に必要な予算、職員の配置を行い適時適切に推進していく。具体的な実施計画については、３年ごとのローリング方式で見直す仕組みとなっている。



一関市総合計画前期計画書

その他のQ&A

- ○高齢者の買い物難と公共交通

石黒一広 議員（いしぐろ かずひろ）



今回のひとこと：ラッキョウ

一関の未来を考える教育

Q 人口減少が進む中、子どもたちが早い段階から一関の現状や課題、魅力、可能性を知り、地域の未来を考える教育は重要。小学校高学年から中学生の時期に、地域学習を充実できないか。

A 社会科や総合的な学習などで実施しており、今後もキャリア教育の充実を進める。

Q 子どもたちに地元に残ることを求めるのではなく、一関を知った上で自ら進路を選択する力を育てるため、地元企業の仕事や農業などを継続して体験する機会を設けては。

A 学校や地域の実情、子どもや保護者の願いを踏まえ、学習内容の充実を検討する。



地域との出会いが未来をつくる

その他のQ&A

- ○市民参加を踏まえた市政運営

佐藤進治 議員（さとう しんじ）



今回のひとこと：運動全般

安心できる避難所は

Q ７月末の熊本地震では震度７が観測されたが、当市で災害時に設置される避難所は耐震性が確保されているか。

A 地震の際開設する避難所は、昭和56年に改正された建築基準法の耐震基準[*9]を満たした施設を指定避難所および地域避難所に指定している。

Q 避難所が停電・断水した場合の対応は。

A 市が避難所に配備した発電機を使用する他、災害時における電動車両等の支援に関する協定を岩手三菱自動車販売などと締結し、電動車両などからの電力を活用する。断水時は市所有の給水車による給水、飲料メーカーなどとの協定により飲料水を確保する。



避難所マーク

その他のQ&A

- ○避難所の物品の備え
- ○福祉避難所
- ○日常生活用具給付事業

千葉栄生 議員（ちば えいき）



今回のひとこと：マイマイカブリ

生活保護費追加給付[*8]対応は

Q 最高裁判決を踏まえた保護費の追加給付の対象者を取りこぼさないために、追加給付に関する相談窓口を分かりやすく周知する考えはあるか。

A 国による具体的な周知では、厚生労働省ホームページへの掲載、相談センターを開設し電話による個別相談、チラシ・ポスターの配布などを行い、自治体相談窓口への案内を行っている。市の保護廃止世帯に対する相談窓口の周知はホームページ掲載の他、チラシ・ポスターの市の施設への掲示や関係機関などへの配布を実施している。９月からは市専用コールセンターを開設し、電話による個別相談を行っている。今後、市広報への掲載を予定している。



生活保護追加給付のお知らせチラシ（厚生労働省）

その他のQ&A

- ○生活保護制度の現状と最高裁判決を踏まえた追加給付
- ○ごみ減量化のさらなる推進

猪股　晃 議員（いのまた あきら）



今回のひとこと：早寝早起き

集落支援員の活動は

Q 地域協働体に配置されている集落支援員[*7]の取り組み内容は。

A 現在は、狐禅寺を除く33の地域協働体に各１名の支援員を配置しており、地域の現状や課題を把握し、課題解決に向けて地域での話し合いや活動に取り組んでいる。

Q 集落支援員の資質向上の対応は。

A 定期的に集落支援員ミーティングを開催し、研修や情報共有を通じ資質向上と活動の充実を図っている。

Q 地域協働体や集落支援員に期待することは。

A 地域の特性を生かし、地域課題の解決に取り組む組織として、住民や関係団体と連携しながら、主体的に協働体機能と支援員の役割を果たしていくことに期待したい。



地域づくり計画策定に向けた話し合い

その他のQ&A

- ○２025年農林業センサスからみる一関市の農業

門馬　功 議員（もんま いさお）



今回のひとこと：有鱗類（ゆうりん）

外国人市民の声を生かすには

Q 外国人市民は何が困っているのか、何があれば住み続けたいと思えるのか。市長との懇談会、移動市長室などに寄せられた意見をどのように施策に反映してきたのか伺う。

A 外国人就労者およびその雇用者との懇談の場で見聞きしたことを施策に反映させた事例の一つは、外国人労働者のために整備された住宅を視察し、令和６年度から社員寮整備の補助制度を創設した。また、地域の方々との交流が楽しいという声や、日本ではごみの分別が難しいという話を聞いたことから、令和７年度に外国人市民のためのごみの出し方のオリエンテーションと、地域住民との交流会を実施した。



外国人に選ばれるまちづくり

その他のQ&A

- ○外国人市民の地域に果たす役割
- ○相談・情報提供・日本語学習の体制
- ○働きやすさ・暮らしやすさを支える仕組み

単語帳

＊10　一関市総合計画
令和８年度から17年度までを計画期間とする「一関市総合計画」基本構想のこと。一関市で暮らすすべての人や団体が目指す、まちづくりの方向性を定めている。

＊９　耐震基準
建物が地震で倒壊・崩壊しないように求められる最低限の強さを定めた建築基準法上のルールで、主に「旧耐震」「新耐震」「2000年基準」に区分される。

＊８　生活保護費追加給付
平成25～27年に生活保護基準額を引き下げた国の対応を「違法」とした令和７年の最高裁判決を踏まえ、国が対象者に保護費を追加給付するもの。

＊７　集落支援員
地域コミュニティの維持と活性化を支援する人材。市は令和７年度から集落支援員制度を導入し、地域協働体から推薦された職員を支援員に委嘱している。

佐藤真由美 議員（さとう まゆみ）



整理整頓

小規模修繕登録の予算確保

Q 多くの零細事業者が市の小規模修繕登録を活用して仕事を確保し、経営を維持存続できるよう市は制度として位置付け、予算を確保する必要があると考えるが。

A 小規模修繕は市が管理する施設で設備の破損などに対し必要な修繕を速やかに行い、安全性や機能を維持するのが目的。希望する業者を事前に登録し、特定業者に偏ることなく雇用確保や地域経済の波及が図られるように取り組んでいる。各事務事業において修繕料や工事請負費として予算計上しており、小規模修繕として予算を計上するものではない。



小規模修繕で零細事業者支援を
※イメージ

その他のQ&A

- ○市営バスとデマンド型乗合タクシーの実態と課題
- ○田舎暮らしがしたい移住希望者
- ○小規模農家の意義と市単独の農業機械購入支援
- ○８月１、２日の大雨被害

岡田もとみ 議員（おかだ もとみ）



自己アピール

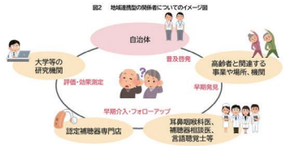
難聴高齢者へ補聴器支援を

Q 厚生労働省は「介護保険保険者努力支援交付金[＊11]」の目的に、新たに難聴高齢者の早期発見・早期介入等の取り組みを追加した。この交付金を活用して、一関市でも補聴器購入費補助を実施すべきではないか。

A ご紹介の交付金は、直接的に補聴器の購入費補助の市の財源とはならないが、加齢性難聴を抱える高齢者の支援の取り組みは検討する。

Q 新たに国で行っている支援策を申請すべきと提案している。一関市の場合は広域行政組合の所管だが、市長は組合の管理者でもあり、組合で申請を積極的に進める意思はあるか。

A 交付金の財源制度に着目して質問いただいたことは、大変ありがたいと思っている。



地域連携型のイメージ図（厚生労働省）

その他のQ&A

- ○いま必要な住宅政策
- ○市民センターの施設整備

単語帳

＊11　介護保険保険者努力支援交付金

介護保険の保険者（市町村など）が行う介護予防・健康づくり等の取り組みを支援する交付金。保険者機能強化推進交付金とセットで運用されている。

総括質疑

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会では、９月11日と14日の２日間、総括質疑を行いました。令和７年度の決算について12人の委員が質疑しました。主な質疑、答弁内容を紹介します。



企画調査事務費（決算額2,954万円）

Q 海外調査などに係る経費の成果は？

A インバウンド誘客では台湾の旅行会社を訪問し、一関市を含む東北へのツアーの企画販売が促進された。台湾から当市への観光客数の増加が顕著で、令和７年度は６万3,095人と前年度の約1.5倍になった。外国人材の受け入れは令和７年10月末時点で外国人材を受け入れている事業所数が対前年同期比プラス9.6%、外国人労働者数がプラス12.7% と増加し、外国人材の受け入れにつながったと捉えている。

生活保護事務費（決算額1,794万円）

Q 市が捉えている実績と評価は？

A 新規生活保護受給者などの扶養義務者に対し、扶養義務の履行内容を確認する扶養義務履行調査、医療扶助の適切給付のための定期的な嘱託医審査、制度改正に伴うシステム改修などを実施した。これにより、自立助長を図る支援の充実や生活保護費の適切な給付など、生活保護法の適正な実施につながったと捉えている。

Q 全般的な課題は？

A 制度改正が頻繁に行われることに伴うシステム改修の対応や、多様化する被保護世帯の課題に対応するための職員の研修機会の確保などである。

駅東工場跡地管理運営事業費（決算額3,237万円）

Q 予算額と決算額に差が生じた理由は？

A 当初、令和７年度中に土地開発事業者を選定し、土地活用計画の策定業務の完了までを見込んでいたが、総合プロデュース業務委託事業者を選定し、土地開発事業者へのヒアリングや直接対話を進めたところ、広大な敷地全体の開発提案の検討には想定以上の期間を要すること、令和８年秋ごろを見込む土地の引渡し時期との関係から、事業者選定時期を見直した方が、より具体性の高い提案が期待できるという意見があった。こうした意見を踏まえ、公募スケジュールを見直し、令和７年度中の土地活用計画策定に係る業務を取りやめたことから、まちづくり会社への委託料を減額した。

ふるさと応援寄附推進費（決算額８億7,262万円）

Q 令和６年度に比べ経費率が下がった理由は？

A 説明書に記載の経費率は国の基準に基づき、ふるさと納税の指定期間である令和６年10月から令和７年９月までの実績を基に算出し、国に報告したものである。令和７年度は９月末で各ポータルサイトのポイント還元制度が廃止になったことに伴い、寄付が９月に集中した。同指定期間には９月の寄付額が計上された一方、返礼品代や送料などの経費は翌年の指定期間に計上され、収入と支出の計上時期にずれが生じた。結果的に経費率が低く算定されたものであり、実際の経費が大幅に減少したものではない。

放課後児童健全育成事業費（決算額３億7,032万円）

Q 保護者からの主な要望と、市の対応状況は？

A 放課後児童クラブのサービスの質の向上を図るため、毎年、利用児童の保護者を対象にアンケート調査を実施している。その中では、利用料の負担軽減のほか、連絡体制のＩＣＴ化、キャッシュレス決済の導入などが要望として寄せられている。利用料の負担軽減については、持続可能な運営体制を維持する観点から、市内の各運営団体の意見も聞きながら、他自治体の事例なども踏まえ、検討に着手している段階である。



市民の声

日々の暮らしで思うこと
まちづくりに期待することなど
市民の声を聞きました



屋内遊び場整備で子育て環境充実を

千葉優子（ちばゆうこ）さん（川崎町薄衣）

私は愛知県名古屋市から一関市に嫁いで16年になり、４人の娘を育てています。子育てをする中で、冬の寒さや日照時間の短さ、近年のクマの出没などを理由に、子供たちが安心して遊べる屋内施設の必要性を強く実感しているところです。休日に宮城県や山形県の行政が運営する屋内遊び場を利用することが多くありますが、その充実した環境を魅力的に感じています。一関市においても、子育て世代が安心して暮らせるよう、屋内遊び場の整備を積極的に進め、子育て支援の充実につなげていただければ幸いです。



次世代へつなげる果樹栽培に挑戦

高橋伸二（たかはししんじ）さん（大東町沖田）

私は祖父の代から続く果樹農家です。若い頃は大型の運転手をしながら休日に家業を手伝い、父の他界を機に本気で家業を継ぐ覚悟を決めました。時代に合わせて品種を変え、今はリンゴ10種、桃15種、和梨と洋梨各６種、ブドウ５種のほか、アーモンドも試験的に栽培しています。担い手不足の今、次の世代へつながるように試行錯誤を重ね、将来的に地域が豊かな産地になればと考えています。「無理」「できない」と諦めるのではなく、まずはやってみる。その思いでこれからも果樹栽培に向き合っていきます。

次の通常会議の予定は 12/1（火）～11（金）

会議日程はホームページをご覧ください。詳しくは議会事務局（☎㉑8604）までお問い合わせください。

議会を傍聴してみませんか

実際に議場に足を運んで、生の議会をご覧になってみませんか。お気軽にお越しください。

インターネットで生中継

議会（本会議）の模様をライブ配信しています。議会のホームページからアクセスしてください。

一関市議会

今号の COVER 一関・平泉 バルーンフェスティバル

一関水辺プラザを主会場に３日間にわたり開催される秋の恒例イベント。秋空を進むカラフルな熱気球がつくり出す絶景に、地上にいる観客が見とれました。



イラストレーター：有華（市内在住）

待受画像ダウンロード

編集後記

議員として歩み始めて１年、議会活動や議会だよりの取材を通して、市民の皆さまの声を直接伺う機会に恵まれました。全国各地で発生した災害や、市内で発生した大雨被害などを通して、日々の暮らしの中にある課題や災害への備え、地域で支え合うことの大切さを改めて実感した１年でもありました。武士道にも通じる誠の精神と「一日一生」の言葉を大切にしながら、これからも市民の目線に立ち、開かれた議会を目指して努めてまいります。（委員 千葉ちあき）

広聴広報委員会
［委員長］猪股 晃　［副委員長］菅原 行奈
［委員］千葉ちあき　皆川 千秋　森 英隆　佐藤 進治
千葉 誠　石黒 一広　佐藤真由美

議会だより いちのせき　No.87　2026.11.1
発行／岩手県一関市議会　住所／一関市竹山町７番２号　編集／広聴広報委員会
電話／0191-21-8604　FAX／0191-26-5556　E-mail:gikai@city.ichinoseki.iwate.jp
印刷／㈱一関プリント社

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

令和８年定例会
第125回７月臨時会議 **ダイジェスト**

７月27日／会議期間１日間
会議では議案２件を審議し、原案通り可決しました。

補正予算

可決

＊議案第50号　令和８年度一般会計補正予算（第４号）

ツキノワグマへの安全対策等に5,369万円追加

第４号補正では、ツキノワグマへの安全対策等に係る経費の追加および増額に5,369万円のほか、国の補正予算に伴う物価高騰対策経費の追加、生活保護費の増額など２億8,705万円を追加し、予算総額を786億67万円としました。

このうち、ツキノワグマへの安全対策等としては、放任果樹の伐採などの経費に対する補助金、観光施設や学校施設の対策事業費などを計上しました。危険鳥獣による被害を防止するための経費として、鳥獣被害対策実施隊員の報酬、クマの捕獲謝礼および箱わなの設置謝礼、クマの出没情報を管理・配信するシステムの導入経費、クマの捕獲活動をサポートするサーマルカメラを搭載したドローンの導入経費などを計上しました。

こんな質疑がありました

Q. 危険鳥獣対策事業費としてさまざまなメニューがあるが、猟友会の意向をどのように反映したか。

A. 猟友会に有害鳥獣駆除の協力をもらう場合、わなの見回りと設置、報酬、捕獲した場合の謝礼を当初予算で増額して見込んだが、今年度の捕獲の状況などから捕獲数が増加しそうなため増額した。

Q. 安全対策の物品の購入はどういったものを想定しているのか。

A. クマ鈴、注意喚起看板、警報器、センサーカメラ、追い払い用花火のほか、クマ撃退スプレー、エアホーンなどを想定している。

〈その他補正予算に計上した主な事業〉

主な事業	補正額（増額）
生活保護事務費	1,014万円
生活保護費	1億2,262万円
肥育素牛導入緊急支援事業費補助金	1,500万円
林業経営体育成対策事業費補助金	1,081万円
令和８年農林施設災害復旧費　※１	151万円
令和８年農地災害復旧費　※２	2,125万円

※１ 令和８年６月21日～23日の豪雨により被災した農林施設の復旧を行うための費用
※２ 同豪雨により被災した農地の復旧を行うための費用

請願

不採択

＊請願第２号　ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の請願

岩手県教職員組合県南支部から提出された、教職員定数改善のための予算措置をするよう国への意見書提出を求める請願です。

表決が分かれた案件

＊請願第２号　ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の請願

会派	清和会						一関みらい						輝郷会					日本共産党一関市議団				公		無			決議結果
氏名	門馬 功	皆川 千秋	那須 勇	佐藤 浩	菅原 行奈	千葉ちあき	岩渕 典仁	千葉 誠	永澤 由利	佐藤敬一郎	佐藤 幸淑	石黒 一広	千葉 信吉	藤代 崇	千葉 幸男	猪股 晃	森 英隆	岡田もとみ	佐藤真由美	千葉 栄生	齋藤 禎弘	岩渕 優	佐藤 進治	小野寺道雄	沼倉 憲二	勝浦 伸行	
請願第２号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	議長	不採択

○＝賛成　×＝反対　欠＝欠席　※公＝公明いちのせき、無＝無会派

市民と議員の懇談会

あなたの
思いを議会に
話しませんか!



市民に開かれた議会を目指し、議会情報の発信と多様な意見交換の場として、「市民と議員の懇談会」を開催します。令和８年度から11年度にかけて、地域協働体のある全40地区での開催を計画しています。今年度は議員が４班に分かれて下記の12地区に伺います。

内　　容　❶議会の活動報告　❷グループに分かれて『テーマに沿った懇談』
対　　象　開催地区の住民で『テーマに関心のある方』
参加方法　予約不要。お気軽に会場にお越しください

地区ごとの会場とテーマ、担当班

11/11 花泉 永井 2班
㈬ 14:00～
会場　永井市民センター
テーマ　①成り手不足
②公共施設の在り方
ほか

11/11 東山 長坂 2班
㈬ 18:30～
会場　東山交流センター
テーマ　地域コミュニティ
ほか

11/13 一関 滝沢 1班
㈮ 18:30～
会場　滝沢市民センター
テーマ　滝沢市民センターの新築・移転　ほか

11/13 川崎 川崎 4班
㈮ 18:30～
会場　川崎市民センター
テーマ　10年後の川崎を考える　ほか

11/14 大東 大原 4班
㈯ 18:30～
会場　大原市民センター
テーマ　風光明媚（めいび）な大原に住み続けるため今できることは何か　ほか

11/17 花泉 油島 1班
㈫ 19:00～
会場　油島市民センター
テーマ　①獣害対策
②道路愛護･河川愛護
③人口減少対策　ほか

11/20 一関 一関 3班
㈮13:30～
会場　一関市民センター
テーマ　①若者が戻ってきたくなるような地域づくり
②駅周辺の利活用
ほか

11/20 一関 弥栄 4班
㈮ 18:30～
会場　弥栄市民センター
テーマ　防災という名の地域づくり　ほか

11/21 藤沢 大籠 保呂羽 1班
㈯ 19:00～
会場　保呂羽コミュニティセンター
テーマ　住民自治の在り方
ほか

11/25 室根 矢越 2班
㈬ 18:30～
会場　室根市民センター
テーマ　これからの自治会運営
ほか

11/28 千厩 千厩 3班
㈯ 9:30～
会場　千厩市民センター
テーマ　①地域コミュニティ
②健康長寿
③子育て・少子化
ほか

11/28 大東 渋民 3班
㈯ 13:30～
会場　渋民市民センター
テーマ　①若者が戻ってきたくなるような地域づくり
②遊休農地の利活用
ほか

議員の班編成

※（　）は居住地域

1班
- 猪股　晃（花泉）
- 皆川　千秋（一関）
- 沼倉　憲二（藤沢）
- 佐藤　浩（一関）
- 岡田もとみ（一関）
- 佐藤　幸淑（東山）
- 藤代　崇（室根）

2班
- 菅原　行奈（東山）
- 千葉　誠（一関）
- 千葉　幸男（花泉）
- 那須　勇（大東）
- 齋藤　禎弘（一関）
- 岩渕　典仁（室根）

3班
- 佐藤真由美（大東）
- 石黒　一広（一関）
- 小野寺道雄（一関）
- 永澤　由利（千厩）
- 岩渕　優（藤沢）
- 千葉　信吉（一関）

4班
- 佐藤　進治（一関）
- 千葉ちあき（一関）
- 森　英隆（一関）
- 佐藤敬一郎（花泉）
- 門馬　功（大東）
- 千葉　栄生（千厩）

勝浦伸行議長（一関）は班に所属せずに日程調整の上参加します

主催／一関市議会
問い合わせ／議会事務局
0191-21-8604